



中部電力

2022年度第 1 四半期 決算説明資料

2022年7月27日

I 2022年度第1四半期 決算概要

<スライド番号>

決算概要	 1
セグメント別決算概要	 4
発電電力量	 8
(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)	 9
2022年度 業績見通し	10

II 参考データ：決算・財務関連

<スライド番号>

連結収支比較表	11
連結財政状態の概要	12

I 2022年度第1四半期 決算概要

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「1Q」表記は4月から6月までの期間を指します。
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

〈決算のポイント〉（連結）

- 売上高：7,659億円
燃料費調整額の増加（+1,348億円）などから、前年同期に比べ 2,410億円の増収
- 経常損益：322億円
ミライズにおいて、お客さまごとの供給コストに応じた販売価格の見直しなどによる利益増加はあったものの、燃料価格の高騰に伴い期ずれ差損が拡大したこと（△360億円）などから、前年同期に比べ 163億円の減益。
（参考）期ずれを除いた経常損益：790億円程度（前年同期に比べ 190億円程度の増益）

- ・ 売上高は、2019/1Q以来、3年ぶりの増収
- ・ 経常損益は、2020/1Q以来、2年ぶりの減益
- ・ 2017/1Q以来、5年ぶりの増収減益

(億円,%)

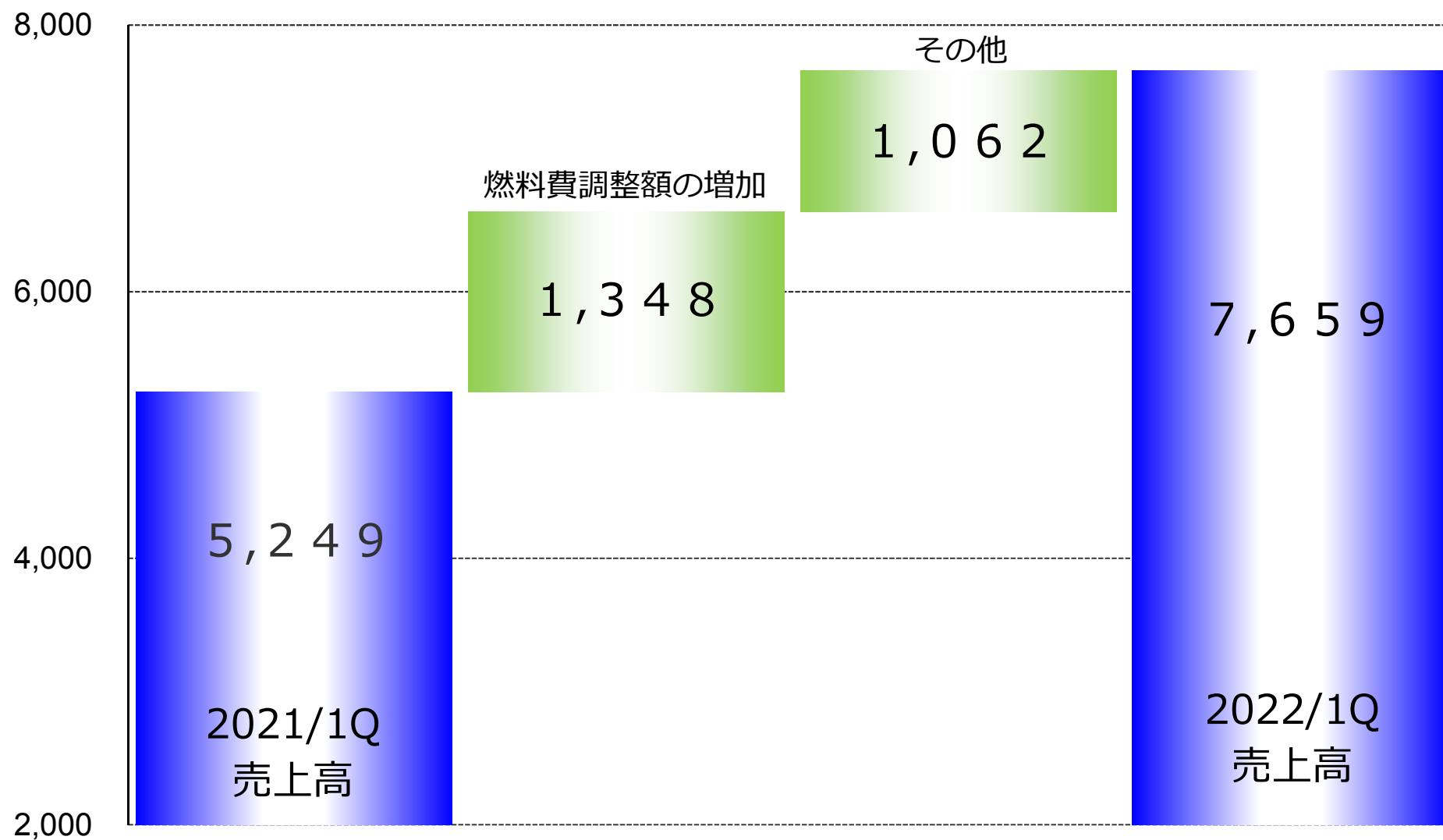
	2022/1Q (A)	2021/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	7,659	5,249	2,410	45.9
営業損益	414	223	191	86.0
経常損益	322	485	△163	△33.7
親会社株主に帰属する四半期純損益	205	337	△131	△39.1

(注) 連結対象会社数 2022/1Q 連結子会社 66社(+13社) 持分法適用会社 66社(+12社) [() 内は前年同期差]

決算概要②

〈連結売上高の変動要因〉（2,410億円の増収）

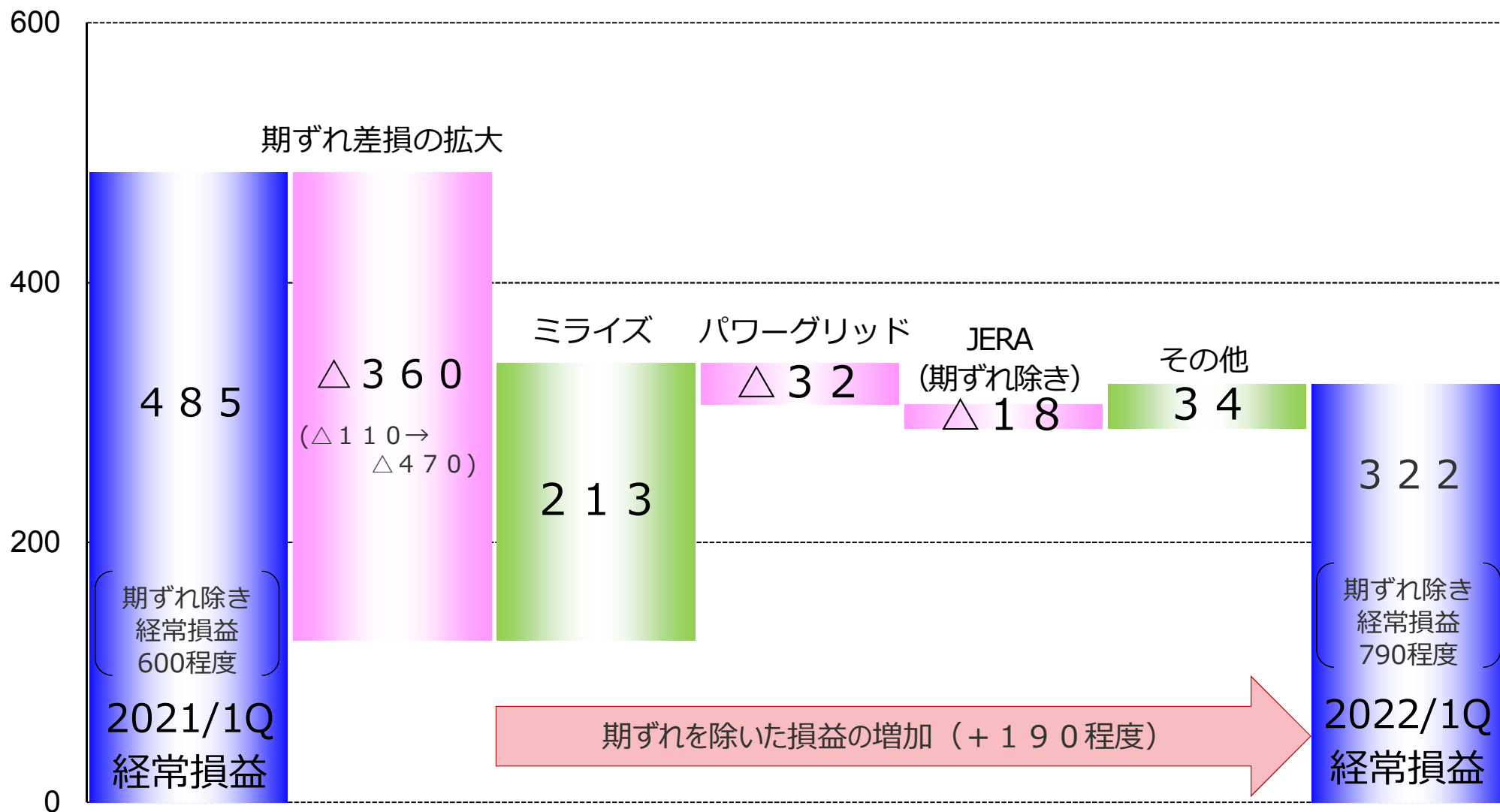
（単位：億円）



決算概要③

〈連結経常損益の変動要因〉（163億円の減益）

（単位：億円）



セグメント別決算概要①

【売上高】

(億円,%)

	2022/1Q (A)	2021/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	5,975	4,095	1,879	45.9
パワーグリッド	2,216	1,738	477	27.5
その他 (※1)	1,958	1,811	146	8.1
調整額	△2,490	△2,396	△93	3.9
合計	7,659	5,249	2,410	45.9

【経常損益】

(億円,%)

	2022/1Q (A)	2021/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	258	45	213	473.7
パワーグリッド	14	47	△32	△69.6
J E R A (※2)	△90	288	△378	—
その他 (※1)	435	903	△467	△51.7
調整額	△296	△798	501	△62.9
合計	322	485	△163	△33.7

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

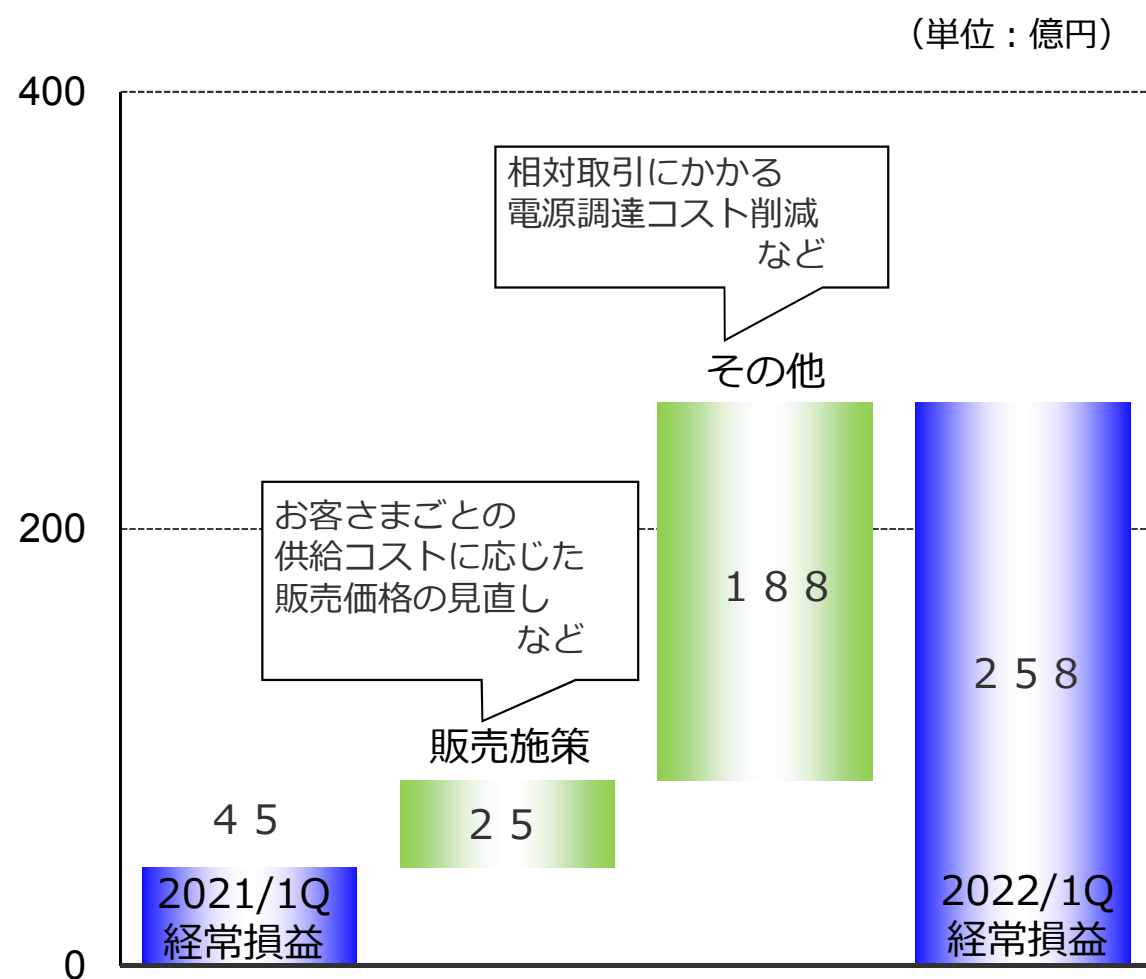
※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、事業創造部門、グローバル事業部門、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R Aは、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

セグメント別決算概要②：ミライズ

〈経常損益の変動要因〉

- お客さまごとの供給コストに応じた販売価格の見直しや電源調達において相対取引にかかる調達コスト削減などにより、前年同期に比べ 213億円の増益



(販売電力量)

(億kWh,%)

	'22/1Q (A)	'21/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	65	69	△4	△5.3
高圧・特別高圧	176	185	△9	△5.0
合計	241	254	△13	△5.1

競争影響△10程度、気温・景気等△3程度

[参考]

グループ合計の 販売電力量	263	273	△10	△3.6
他社販売電力量	28	22	6	27.9

※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。

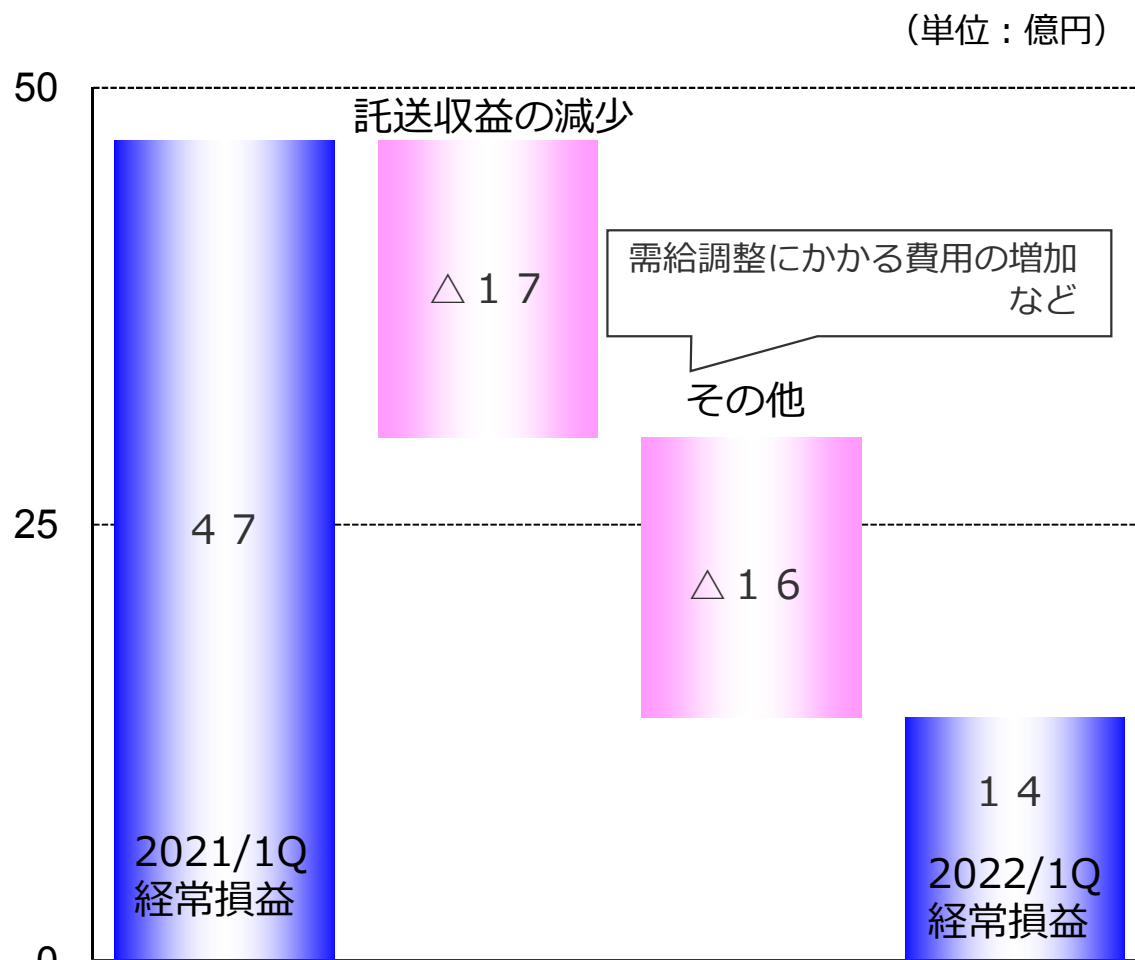
※ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。

※ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。

セグメント別決算概要③：パワーグリッド

〈経常損益の変動要因〉

- 託送収益の減少や需給調整にかかる費用の増加などから、前年同期に比べ 32 億円の減益



(エリア需要)

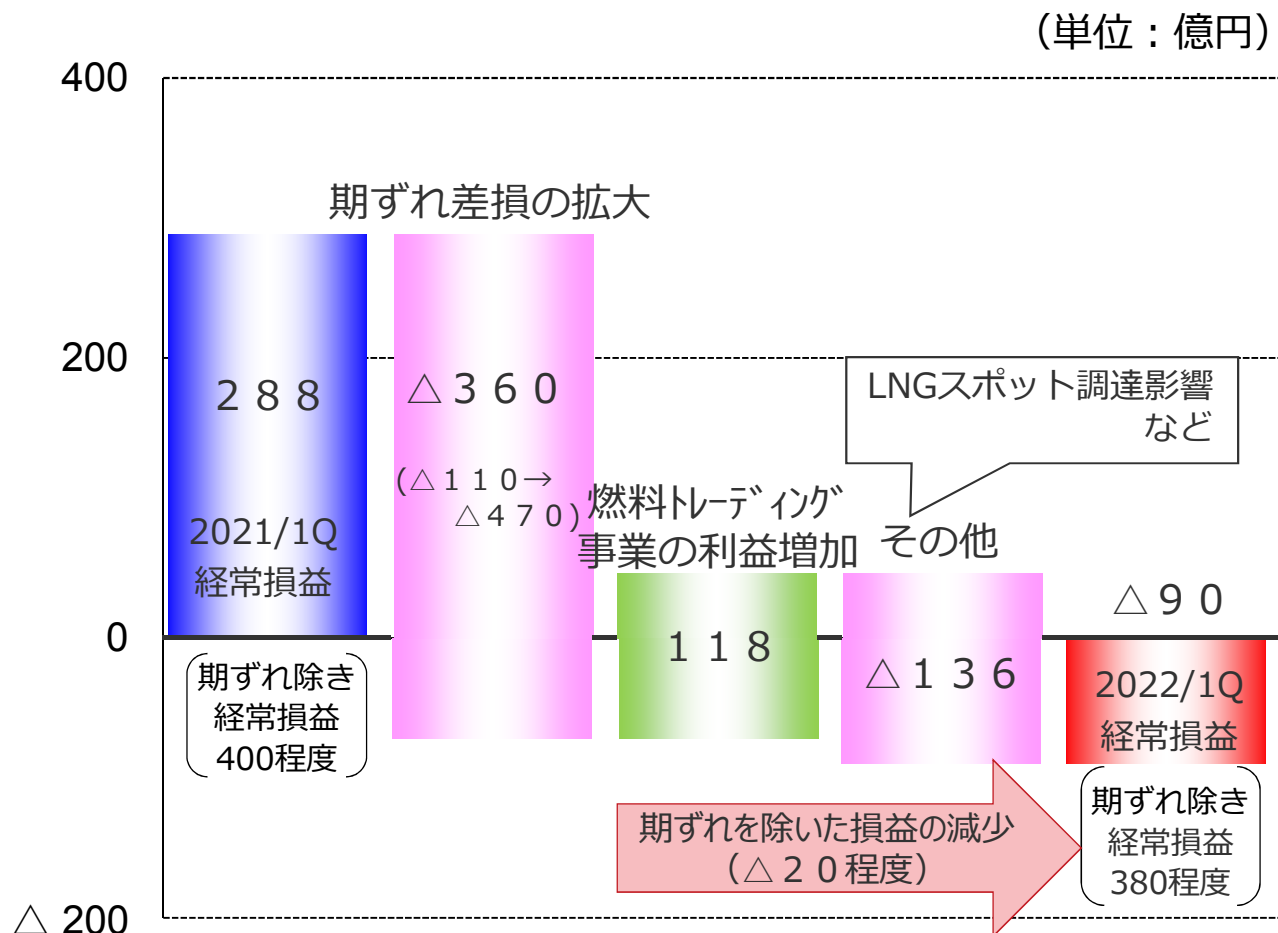
(億kWh, %)

	'22/1Q (A)	'21/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	82	83	△2	△1.9
高圧・特高	206	209	△2	△1.2
合計	288	292	△4	△1.4

セグメント別決算概要④：J E R A

〈経常損益の変動要因〉

- 期ずれ差損の拡大などにより、前年同期に比べ 378 億円の減益
(参考) 期ずれを除いた経常損益：380 億円程度 (前年同期に比べ 20 億円程度の減益)



(CIF価格・為替レート)

	'22/1Q (A)	'21/1Q (B)	増減 (A-B)
原油CIF価格(\$/b)	110.8	67.0	43.8
為替レート(円/\$)	129.7	109.5	20.2

※2022/1Qの原油CIF価格は速報値

(参考：JERA連結決算値)

	'22/1Q (A)	'21/1Q (B)	増減 (A-B)
連結純損益(億円)	△117 (817)	640 (869)	△758 (△51)

() 内は期ずれ除き連結純損益

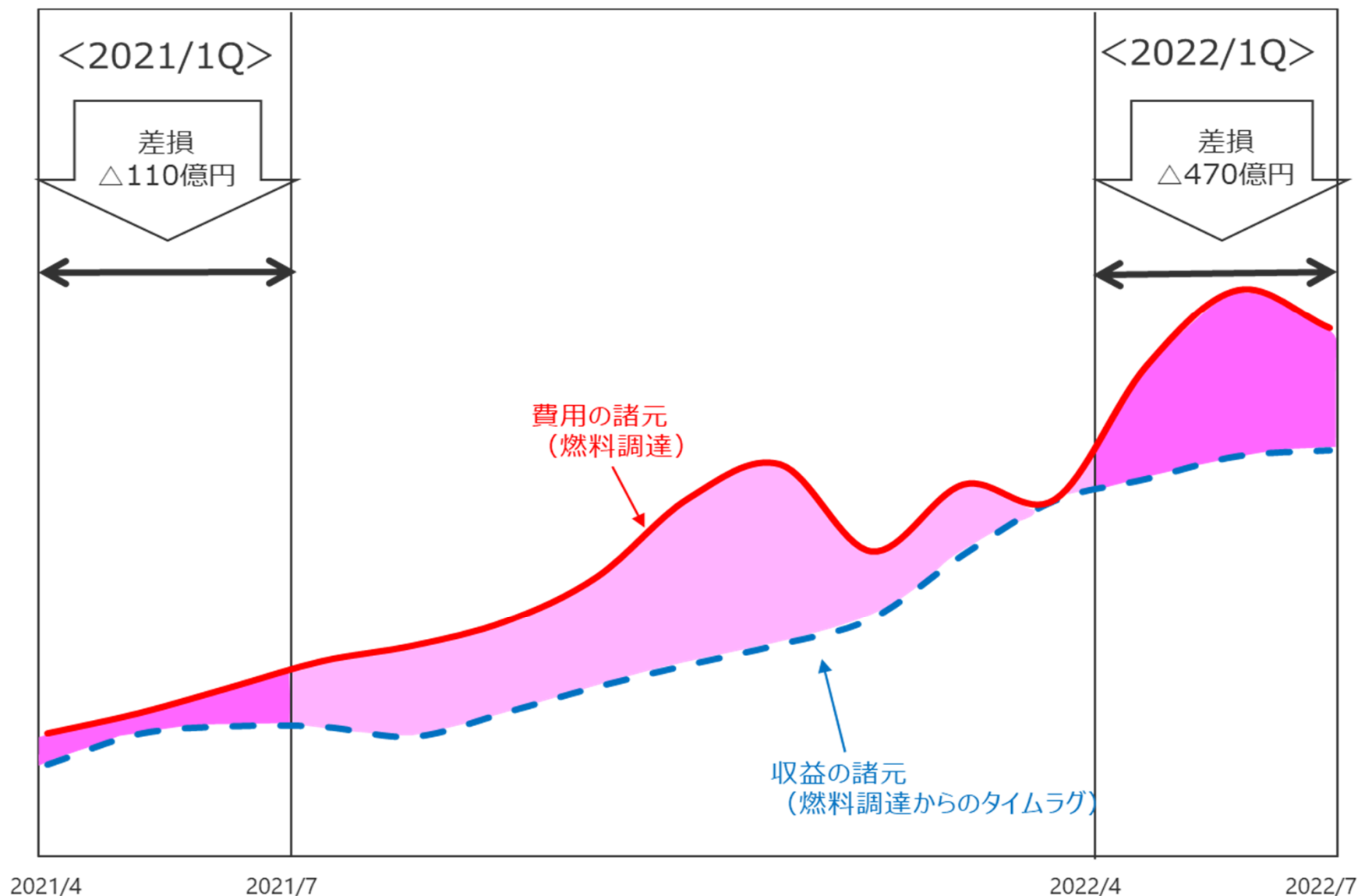
〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 出水率が前年同期を下回ったことから、4 億kWh減少
- **新エネルギー** 前年同期並み

(億kWh,%)

	2022/1Q (A)	2021/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	24 (87.4)	28 (105.8)	△4 (△18.4)	△12.9
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	1	0	0	67.5
合計	25	28	△3	△11.7

(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



- 業績見通しの前提となる資源価格や卸電力取引市場価格などが引続き不透明な状況であり、合理的に業績を想定することが困難であることから、2022年度の業績見通しを未定としております。
- 今後、業績予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

連結収支比較表

(億円,%)

	2022/1Q (A)	2021/1Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	7,659	5,249	2,410	45.9
持分法による投資利益	—	293	△293	—
その他収益	39	25	14	55.9
営業外収益	39	318	△278	△87.6
経常収益	7,698	5,567	2,131	38.3
営業費用	7,244	5,026	2,218	44.1
持分法による投資損失	74	—	74	—
その他費用	57	55	1	3.6
営業外費用	132	55	76	137.9
経常費用	7,376	5,081	2,294	45.2
(営業損益)	(414)	(223)	(191)	(86.0)
経常損益	322	485	△163	△33.7
剰水準備引当金取崩し	2	—	2	—
法人税等	102	145	△42	△29.4
非支配株主に帰属する四半期純損益	16	3	13	446.4
親会社株主に帰属する四半期純損益	205	337	△131	△39.1

連結財政状態の概要

(億円)

	2022/6末 (A)	2022/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	63,069	61,747	1,322
負債	40,679	40,514	164
純資産	22,390	21,232	1,157

	2022/6末 (A)	2022/3末 (B)	増減 (A-B)
自己資本比率(%)	33.8	32.7	1.1
有利子負債残高	29,106	28,002	1,103

	2022年度 見通し	2022/1Q	【参考】 2021年度
戦略的投資	1,000程度	100程度	800程度

本資料取扱上のご注意

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる場合があります。